

# 武蔵野市 Sports for All 情報 Monthly News (2018年4月)

## 今月の一押し

### 東京2020大会ボランティア募集に関する情報が発表されました

東京2020大会で活躍するボランティアの応募条件案や選考スケジュールなどが、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会のWebページで発表されました。

<https://tokyo2020.jp/jp/get-involved/volunteer/about/>

ボランティアは大きく分けて2種類あり、競技会場、選手村等の大会関係施設で活動する「大会ボランティア」と、空港・主要駅・観光地、競技会場の最寄駅周辺で活動する「都市ボランティア」がそれぞれ募集されるようです。

今後のスケジュールとしては、今年7月に募集要項を発表、9月から応募の受付を開始するとのことでした。Webページでは、具体的な活動例なども紹介されています。

### 「東京2020 Nipponフェスティバル」をご存知ですか

オリンピック・パラリンピックはスポーツの祭典というだけでなく、文化の祭典でもあります。過去大会においても、開催都市を中心に様々な文化プログラムが大会と共に展開されてきました。

東京2020組織委員会は、2020年4月から大会に向けた機運を最大化し、国内外へ日本の様々な文化をPRするため、「東京2020 Nipponフェスティバル」を展開することを発表しました。

<https://tokyo2020.jp/jp/get-involved/festival/>

このフェスティバルでは、多様な方々が参画でき、革新的で卓越した、「歴史に残る」文化プログラムを全国各地で実施することを目指しています。47都道府県をまわる聖火リレーとも連動し、全国各地で祝祭感あふれるプログラムが展開されます。

2020年、みんなが文化日本代表となって、オリンピック・パラリンピックを盛り上げていけたら素敵ですね。



平成29(2017)年7月に吉祥寺美術館他で開催した「武蔵野アール・ブリュット2017」の様子

過去の大会ボランティア・都市ボランティアでは、多くの方と交流し、多くの経験や思い出を得た方もいるようです。東京都オリンピック・パラリンピック準備局によるボランティア紹介サイト「東京ボランティアナビ」では2012年のロンドン大会でボランティアを経験した方のインタビューを公開しています。

<http://www.city-volunteer.metro.tokyo.jp>

一生にあるかないかのこの機会に、応募してみたいか、かでしょうか？今後発表される情報にも、注目していきましょう。

### 平昌パラリンピック出場前に パラアイスホッケーの 安中幹雄選手が来庁しました

平昌パラリンピックに、武蔵野市出身の選手が出場しました。パラアイスホッケー日本代表の、安中幹雄(あんなか みきお)選手です。 <http://sledgejapan.org/>

市が応援したい意向を伝えたと、大会前の大事な時期にもかかわらず、平成30(2018)年2月15日市役所に来てくれました。大勢の職員による出迎えの後、市長からの激励メッセージと、出身校である武蔵野市立第一中学校の在校生による応援メッセージ入りの国旗を校長先生よりお渡ししました。

安中選手からは、「2大会ぶりのパラリンピックで、何としても結果を出したい。子どもたちからのメッセージの入った国旗は、試合会場に飾るので、ぜひ探してほしい」とのメッセージをいただきました。

残念ながら、平昌パラリンピックにおいて、パラアイスホッケー日本代表はメダル獲得とはなりませんでしたが、武蔵野市ゆかりの選手として、武蔵野市は今後も安中選手を応援していきます。



「武蔵野市 Sports for All 情報 Monthly News」では、月に一回、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等に関する情報、市の関連イベントなどをお知らせします。

さらにタイムリーな情報については、以下のfacebookページをご覧ください。

facebookページ「武蔵野市Sports for All情報」 <https://www.facebook.com/musashinoolypara/>



# 平成29(2017)年度の、東京2020大会等に向けた武蔵野市の動き

## ●東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等に向けた武蔵野市実行委員会

市・市教育委員会・市議会の他、市民活動団体、学校、企業、ホテル、輸送・交通関係、警察、消防、医療関係など、全79団体が参加。  
平成29(2017)年5月26日に設立総会が開かれ、その後「ボランティア・市民活動・広報」「スポーツ・健康」「文化・交流」「観光・産業・交通(輸送)」の4つの分科会が立ち上がり、これからの取組みについて検討しました。

### 【平成29(2017)年度に実施した取組み】

- ・ルーマニア柔道選手の参加する大会(柔道グランドスラム東京2017)への応援団派遣
- ・文化オリンピアドについての講演会(右写真)実施
- ・ムーブスのナンバープレートを東京2020大会仕様に交換



「文化オリンピアドで地域の活力創出を」  
～武蔵野市で私たちができること～(2018.2.18)

## ●東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアー

平成29(2017)年5月6日(土)に、吉祥寺駅北口ロータリー野外特設ステージにおいて、セレモニーを開催しました。

フラッグを引き継ぐアンバサダーとして大林素子さん(バレーボール)の他、武蔵野市にゆかりのある東京2020大会を目指すアスリートとして、加藤美優さん(卓球)と坂本梨歩さん(水球)にご参加いただき、大会に向けた抱負や熱いメッセージをいただきました。

フラッグは、セレモニー終了後「吉祥寺駅 はなびの広場」にて5月12日(金)まで展示しました。

ゲスト出演にご協力いただいた藤村学園様のほか、実行委員会所属団体の皆様には広報にご協力いただきました。ありがとうございました。



## ●Sports for All イベント

当市では、誰もがスポーツに参加できる環境づくりを目指して、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等に向けたイベント名を「Sports for All」としました。子どもたちをはじめとして、市民の皆様の心に残る魅力的な体験の機会を提供しています。

### 【平成29(2017)年度に開催したSports for All イベント】

ラグビー(5月21日)



フォトグラフ(10月14日～20日)



カヌー(9月18日)



バドミントン(2月24日)



水球(10月9日)



柔道(12月9日)



各競技の実施にあたっては、体育協会(各競技連盟＝市民団体)のご協力のほか、藤村学園様・成蹊大学様(水球)、横河武蔵野アススターズ様(ラグビー)にご協力いただき、ありがとうございました。成蹊大学様、亜細亜大学様には、授業での周知にご協力いただきました。チラシ配布や、フェイスブックシェアをいただいた皆様、ありがとうございました。

## ●オリンピック・パラリンピック教育

全ての市立小中学校で、オリンピック・パラリンピック教育の取り組みを進めています。

ボランティアマインド、障害者理解、スポーツ志向、伝統・文化理解、国際理解の5つの資質を育成するという方針のもと、学校ごとに様々な取り組みを行っています。

具体的には、パラリンピック選手との交流やパラリンピック種目を体験することなどを通して障害者理解を深めたり、世界の国々の様々な言語、文化、歴史を学ぶ「世界ともだちプロジェクト」を通して国際理解を深めたりしています。

## ●2017ジャパンパラ ボッチャ競技大会

平成29(2017)年11月18日(土)・19日(日)、日本初のボッチャの国際大会が武蔵野総合体育館で開催されました。

2日目の第3試合、日本vsタイ戦では、リオで惜しくも敗れたタイに1時間半の接戦の末、日本が勝利する結果となりました(5-5のタイブレークののち、延長戦で勝利)。  
激闘を終えた選手たちは穏やかな表情でお互いの健闘を讃え合っていました。

日本代表の廣瀬選手は「東京では金メダルを取りたい。タイとのレベルの違いは確認できた」と試合を振り返り、東京2020パラリンピックへの意気込みを語りました。

今大会では、武蔵野市の小学生もエスコートキッズ・ラウンドキッズを見事に務め上げ、大会を盛り上げました。観戦も、2日間でのべ1000人以上の方にご来場いただき、選手の技術を目の当たりにし、公式戦と同じ広さのコートでのボッチャ体験や、競技用車いす体験をしていただきました。

東京学芸大学の鈴木教授によるタグラグビーの導入支援や、横河武蔵野アトラスターズや成蹊大学ラグビー部の現役ラグビー選手との交流、北京オリンピックバレーボール女子日本代表の櫻井由香氏が指導に来るバレーボールの授業なども行っています。



横河武蔵野アトラスターズ様、成蹊大学ラグビー部様、櫻井由香様、授業へのご支援ありがとうございました。

来場者からは「今回の大会観戦でボッチャの奥深さが分かった」「世界レベルの神技に感動した」という言葉が多くあがっていました。



市立第一小学校および大野田小学校の児童の皆様、エスコートキッズ・ラウンドキッズにご協力いただき、ありがとうございました。

## ●武蔵野市の魅力再発見・発信事業

市民ともに武蔵野市の強みや魅力、海外から見た武蔵野市の良さを再発見し、その魅力を国内・国外に発信していく事業です。市民ワークショップや、成蹊・亜細亜大学の学生による外国人インタビュー、中高生世代広場での検討、写真公募などを行いました。

平成30(2018)年度は、いよいよ市の魅力を発信する動画・パンフレット等を作成します。

成蹊大学様、亜細亜大学様、授業で  
ご協力いただき、ありがとうございました。



魅力発掘写真コンテスト

グランプリ  
「つながり・にぎわい・秋神輿」

山下倫一様

## ●運動習慣の定着化促進事業

大会を契機に高まるスポーツの機運を活用し、スポーツを始めるきっかけづくりおよび継続するための環境を整えるべく、平成29(2017)年度は基礎調査を行いました。

WEBアンケートの結果と、スポーツ事業体験モニターによるグループインタビュー調査により、次の3点が運動習慣化のスタートアップに向けた動機付けの鍵となるのではないかと仮説を立てることができました。

- ① “具体的な、明確な効果”をイメージすること
- ② 充足感・気持ちの良さといった“精神的効果”
- ③ 運動をもっと気軽に捉えられる“運動のイメージ”の転換

今後のスポーツ教室や、スポーツ関連事業において、この3点を意識した構成や周知の工夫を進め、その効果を実証していきます。この取り組みを通じて、市民の皆様がいつまでも健康でいられる地域、活気ある元気な地域社会の推進へとつなげていきます。

●ルーマニアホストタウン事業

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、ルーマニアのホストタウンとして各種事業を行いました。

ラグビールーマニア代表応援ツアーin熊本

平成29(2017)年6月10日(土)、熊本県で開催された「ラグビー日本代表vsルーマニア代表」の試合を、28名の市民応援団で応援に行ってきました。



ルーマニアオリンピック委員会の体育施設視察

平成29(2017)年9月20日(水)、ルーマニアのオリンピック委員会が来日し、市の体育施設などを視察しました。事前キャンプ等の実施に向けた具体的な協議を進めていきたいとの意向が示されました。

ブラショフ・フィルハーモニーと、友好と平和の第九合唱団

平成29(2017)年11月23日(木・祝)、武蔵野市民文化会館で、ルーマニア・ブラショフ市と武蔵野市の交流25周年を記念し、ルーマニアよりブラショフ・フィルハーモニー交響楽団を招聘し、コンサートを開催。このコンサートに合わせて結成した「武蔵野市友好と平和の第九合唱団」により、交流のきっかけとなった曾我大輔氏指揮のもと、「第九」を歌い共演しました。

ルーマニア視覚障がい者柔道の選手が来日

第32回全日本視覚障害者柔道大会に出場するため、ルーマニアのアレクサンドル・ボルガ選手が来日しました。男子60kg級で優勝し、市長に報告に来てくれました。

ルーマニア柔道チームが来日

平成29(2017)年12月2日(土)・3日(日)に行われた「柔道グラウンドスラム東京2017」へ出場するため、ルーマニアの柔道チームが来日しました。市では会場に応援に駆けつけ、声援をおくりました。

チームは、大会翌日に、武蔵野市を訪問し、市内を観光しました。12月9日(土)には、「Sports for All 柔道」で子どもたちとの交流を図りました。

市からの情報

4月のイベント情報などをお知らせします

●4/1(日) むさしの桜まつり

- 日時:平成30(2018)年4月1日(日) 午前10時～午後4時
- 会場:むさしの市民公園、総合体育館、陸上競技場、ほか
- 内容:ステージイベント、縁日広場、子ども村、パレードなど

- ★注目ポイント1★ (総合体育館メインアリーナ)「Sports for Allパラリンピック競技体験」としてブラインドサッカーおよびボッチャの体験ができます!
- ★注目ポイント2★ (むさしの市民公園/メインステージ)10:55-11:10 市ゆかりのアスリートと東京五輪音頭の紹介
- ★注目ポイント3★ (むさしの市民公園/ブース)オリンピック・パラリンピックおよびルーマニアホストタウンのブースを出展

●4/29(日) ファミリースポーツフェア

- 日時:平成30(2018)年4月29日(日)午前10時～午後3時30分(受付午前9時50分～午後3時)
- 会場:陸上競技場、総合体育館、ほか
- 内容:一日楽しく遊べるニュースポーツイベント

- ★注目ポイント★(ダンス室)東京都のパラリンピック競技体験イベント「NO LIMITS CHALLENGE」がやってきます。

当市ゆかりの選手情報

●鍋島 莉奈 選手(陸上)【市在勤】

1月14日(日)に京都市で開催された「皇后盃 第36回全国都道府県対抗女子駅伝競走大会」で、日本郵政グループの鍋島莉奈選手(武蔵野市在勤)が第1区の区間賞に輝きました。

●青木 洋子 選手(視覚障害者マラソンT12クラス)【市在勤】

「2018 World Para Athletics Marathon World Cup(ロンドンマラソン)」に出場決定!  
 ■日程:2018年4月22日 ■場所:イギリス ロンドン

【問合せ】武蔵野市総合政策部企画調整課(オリンピック・パラリンピック担当) 宮本・谷藤  
 〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28 電話番号 0422-60-1970(直通) FAX 0422-51-5638  
 メールアドレス [SEC-OLYPARA@city.musashino.lg.jp](mailto:SEC-OLYPARA@city.musashino.lg.jp)

※「武蔵野市 Sports for All 情報 Monthly News」を設置・配布していただける施設・店舗・団体を募集しています。ご協力いただける方は、送付先・必要部数などをご連絡ください。